

魅力ある地域づくり活動団体を表彰します。

～手づくり郷土賞<sup>ふるさと</sup>を、愛媛県立伊予農業高等学校  
「伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム」が受賞～

「手づくり郷土賞<sup>ふるさと</sup>」は地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰（国土交通大臣表彰）するものです。

「手づくり郷土賞<sup>ふるさと</sup>」認定証の授与式を以下のとおり実施します。

**受賞団体：愛媛県立伊予農業高等学校**

**伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム**

（活動地区：愛媛県松山市・松前町）

件名：重信川河口域の湿地環境保全～高校生の取り組み～

開催日時：平成30年 2月19日（月）13:00～13:30

開催場所：伊予市役所 4階 大会議室

愛媛県伊予市米湊820番地

出席者：愛媛県立伊予農業高等学校

伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム

（玉井顧問、他）

伊予市（武智市長）

国土交通省（永井四国地方整備局次長、他）

※国土交通大臣の代理として、四国地方整備局次長が認定証を受賞団体に授与

式次第：活動概要説明、認定証授与、祝辞、謝辞

※日時場所については、変更する場合があります。当日取材される場合は、事前に問合せ先までご連絡ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取組に関連します。

<問い合わせ先> ◎：主な問い合わせ先

【手づくり郷土賞全般】

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課長 福田 浩

◎課長補佐 木下 功

電話 087-811-8309（広域計画課直通）

【認定証授与式】

四国地方整備局 松山河川国道事務所

副所長（河川）松下 越夫（内線 204）

◎調査第一課長 山崎 元司（内線 351）

電話 089-972-0034

## ◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。平成29年度で32回目。

### 【一般部門】

地域の個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりのある優れた地域活動を一体として表彰

### 【大賞部門】

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したもののうち、一層の発展のあったものを表彰

(参考) 平成29年度手づくり郷土賞応募要領は以下のURLをご参照ください。  
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/entry/boshuu/bosyu.pdf>

## ◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します

### 手づくり郷土賞選定委員会（平成29年度）

委員長	齋藤 潮	東京工業大学環境・社会理工学院 教授
委員	荻原 礼子	結 まちづくり計画室 代表
委員	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー
委員	由木 文彦	国土交通省総合政策局長

# 重信川河口域の湿地環境保全～高校生の取り組み～

＜活動主体＞愛媛県立伊予農業高等学校 伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム <対象となる社会資本>重信川河口域  
管理者:四国地方整備局松山河川国道事務所



## ＜活動内容＞

重信川河口のヨシ原再生事業では、**計画づくりから、ヨシの移植、移植後のモニタリングに取組み、フォーラムや自然科学教室等で発表し、自然環境保全の重要性について啓発活動を行っている。**そのほか、洪水時に漂着した生活ゴミの収集や不法投棄された家電製品の撤去などを行うとともに、**地域のNPO等が開催する清掃活動にも積極的に参加している。**地域の誇るシンボルとして保全することにより、住民の憩いや小中学生等の環境学習、バードウォッチングの場として、**年間1万人が訪れる。**